

JPSC 2022 データの修正と追加について（お詫びと差し替えのお願い）

この度、2022年5月より提供しておりますJPSC 2022（1993-2020、第28回まで）のデータにおいて、一部の変数の内容にミスがありましたのでご報告を申し上げます。

該当変数はQ62（未既婚変化、合成変数）であり、JPSC 2022 で提供した第28回と27回の2ヵ年分のデータにおいて、ID5000番台の「2 未婚継続」と「4 離死別継続」のコードが逆転しておりました。この変数は調査員が確認する婚姻状態（Q1 の情報）をもとに調査会社が作成している変数であり、ユーザーからのご指摘を受けて確認したところ、プログラムの内容にミスがあったとの報告を受けました。

今回、該当のQ62を修正したデータを「JPSC2022_v2」として公開いたします。このJPSC 2022_v2では、最新の第29回調査データの内容に付随して、2022.5.13登録のデータ（v1といたします）から、下記の情報も併せてアップデートされています。

1. 第29回調査（2021年）時で回収できた、第28回調査時に未回収対象者の情報を第28回データに結合（全10ケース）
2. 第29回調査の回答をもとに一部の項目（世帯員情報や、職業、産業分類等）について、第28回以前のデータへの遡及修正（※相違点に関する詳細をご希望の場合は、下記までお問い合わせください）。

利用者の皆様にはお手数をおかけいたしますが、速やかに以下の手順でデータの更新（修正データ V2 のダウンロードの上、差し替え）を行っていただくようお願いいたします。

DMSのマイページよりログイン

→「プロジェクト一覧」より、現在、JPSCを申請されたプロジェクト（ステータスが「利用中」となっているもの）をクリック

→データをダウンロード（フォルダ名は、以前と同じものですので、ご注意ください）

あわせて、成果公表の際に、更新「前」のデータをお使いになることがありましたら、データのバージョン (v1 である旨) を必ず明記くださるとともに、その旨をご報告ください。今後、データに誤りが発見された場合は、v2 を元に修正をいたしますので、その点もあらかじめご了承ください。修正データにつきましてご不明な点がございましたら、下記までお尋ねいただければ幸いです。

以後、このようなことが起こらないように、調査会社とも一体となり再発防止に努めて参ります。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。取り急ぎ、お詫びとご報告を申し上げます。

慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター・JPSC 部門
jpschelp@pdrc.keio.ac.jp